

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
人権学				妻木 進吾	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	2年次	集中講義	無	
授業の概要 (Course Description)					
<p>*本講義の目標は、「他人を差別してはならない」「他人を傷つけてはならない」「他人に優しく」といった禁止や命令について学ぶことではない。人権概念とそのあゆみについての基礎を理解した上で、フリーターやニートと呼ばれる若者たち、正社員や学生アルバイトといった働き方など、「若者と働くこと」を切り口、あるいは出発点として、実証的なデータに基づきながら人権について学んでいく。もって、現代日本社会の人権課題について理解を深めるとともに、自らの権利について学び、人権について意見を主張できるようになることを目標とする。</p> <p>*ビデオ視聴なども活用して講義を展開する。なお、受講生数によってはグループワークなどを行う可能性がある。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人権概念とそのあゆみについての基礎を説明できる。</li> <li>2) 現代日本社会の人権課題について、「若者と働くこと」を切り口に説明できる。</li> <li>3) 人権について自分の考えを主張できる。</li> <li>4) 権利を使いこなす主体になることの重要性を理解する。</li> </ol>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	イントロダクション：思いやりとやさしさと人権				
第 2 回	人権概念とそのあゆみ				
第 3 回	「フリーター」の急増と社会問題化 (1)				
第 4 回	「フリーター」の急増と社会問題化 (2)				
第 5 回	「フリーター」「ニート」急増の構造的背景				
第 6 回	「フリーター」「ニート」になるのは誰か? (1)				
第 7 回	「フリーター」「ニート」になるのは誰か? (2)				
第 8 回	「フリーター」「ニート」になるのは誰か? (3)				
第 9 回	「ビーチフラッグスの比喻」と「家族依存社会」				
第 10 回	変わる正社員の労働 (1)				
第 11 回	変わる正社員の労働 (2)				
第 12 回	働く者の権利について学生アルバイトを通して考える (1)				
第 13 回	働く者の権利について学生アルバイトを通して考える (2)				
第 14 回	働く者の権利について学生アルバイトを通して考える (3)				
第 15 回	まとめ：自己責任時代と人権				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>授業中に配布するレジメやコミュニケーションカードのまとめを使って復習を行う。 授業内容について、家族や友人などと話し合うことで、学びを深める。</p>					

